

## 【単年度事業評価様式】

**青葉区地域子育て支援拠点事業**  
**令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標**

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブパレット 青葉区子ども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青葉区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営</li> <li>2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営</li> <li>3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営</li> <li>4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営</li> <li>5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営</li> <li>6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営</li> </ol>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業)</li> <li>2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業)</li> <li>3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業)</li> <li>4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業)</li> <li>5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)</li> <li>6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)</li> <li>7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)</li> </ol>
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。</li> <li>2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。</li> </ol>

## 令和4年度重点目標の評価

令和4年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域子育て支援拠点のもつ多様な機能や役割を区民や関係機関に知らせ、活用につなげていく。</li> <li>2. 将来親となる次世代からの包括的な子育て支援に取り組む。</li> <li>3. 他団体・施設・支援者と連携し、子育て世帯や妊婦とその家族が身近な地域の子育て支援につながるように、ネットワークを構築する。</li> </ol>
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周知・発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、各SNSや青葉区子育て情報発信アプリAonicoを活用して効果的に子育て情報の発信を図る。</li> <li>・支援者向けに拠点の情報収集機能について継続的に周知を図る。</li> <li>・事業実施日から逆算して適切なタイミングでの周知を継続し、参加につなげていく。</li> </ul> </li> <li>2. 将来親となる次世代からの包括継続的な子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期のみならず、将来親となる次世代に向けての企画や広報を行い、様々な子育て支援が地域に存在し、身近なものであることを周知していく。</li> <li>・妊娠期にできたつながりを出産後に効果的に活用していく手法を検討する。</li> </ul> </li> <li>3. ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・両者が考える各地域の子育て資源の現状や今後のニーズについて共有し、事業展開前後に検討時間を十分確保していく。</li> <li>・地区別ネットワーク連絡会などで、各地区の支援者が連携して地区の課題やその解決策を検討する。</li> <li>・青葉区内の子育て支援に携わる人が交流する機会を作り、連携を深めていく。</li> </ul> </li> </ol>

取組の成果	<p>1. 周知・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報発信アプリAonicoの立ち上げ・運営を協働して行い、拠点に情報が集約できる仕組みが整った。また、Aonico、HP、SNSでも拠点の情報、地域の子育て支援情報をタイムリーに発信することができた。</li> <li>・区と拠点で協力し、定期的に区報へ拠点事業の紹介記事を掲載するなど事業実施に係る事前の周知を拡充したことで、参加者数を増やすことができた。</li> <li>・区民まつりや商業施設での企画時に区民に向けて包括的に子育て支援の必要性を発信した。</li> </ul> <p>2. 将来親となる次世代からの包括継続的な子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生・中学生・高校生・大学生のひろば体験やボランティア、実習の受け入れを積極的に行うことで、将来的に子育て世代となる学生に包括的な子育て支援の必要性を伝えた。</li> <li>・引き続きプレパパ・プレママクラス(両親教室)を拠点で実施することに加えて、区役所でのハローベビークラス実施後にラフルサテライトの見学会を行ったことで、拠点での妊娠期の企画申し込みや妊娠中の利用者を増やすことができ、出産後を見据えた拠点とのつながりづくりができた。</li> </ul> <p>3. ネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てネットワーク連絡会事務局として、地区分析を通して、各地区の特徴や課題整理を行った。</li> <li>・地区別ネットワーク会議などを通して、地域の支援者と顔見知りの関係を築き、ネットワーク強化に取り組んだ。</li> </ul>
取組の課題	<p>1. 周知・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信・集約の手段として、子育て情報発信アプリAonicoの立ち上げ・運営を行ったが、実施効果の検証ができなかったため、各種講座の場を活用し、利用者の声を収集する必要がある。</li> </ul> <p>2. 将来親となる次世代からの包括継続的な子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の世代に子育て支援について関わっていく機会を作ったが、より周知を拡大していく必要がある。</li> <li>・出産前、妊娠期からの継続した子育て支援の必要性について区と拠点で検討を重ねる必要がある。</li> </ul> <p>3. ネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の特徴や課題を踏まえた支援を行う必要がある。</li> </ul>